

つるおかの今

66回（昭和34年卒） 加賀山隆士

2001年4月鶴岡市長富塚陽一氏と慶応義塾大学塾長鳥居泰彦氏（山形城主鳥居忠政末裔）との間で鶴岡タウンキャンパス（山形県鶴岡市馬場町）野球場跡に慶應義塾大学先端生命科学研究施設が設置され、いくつかのベンチャー企業が生まれています。

血液検査でうつ病を診断する技術を持っているヒューマンメタボロテクノロジーズ（2003年設立）、人工蜘蛛糸の開発を手掛けるスパイバー（2007年設立）、唾液検査で癌などの病気の早期に発見する技術の実用化を目指すサリバテック（2013年設立）、メタボローム解析とメタゲノム解析を基に腸内環境を評価するメタジェン（2015年設立）、移植用の心臓組織を製造、販売するメトセラ（2016年設立）などがあり、2017年4月10日には国立がん研究センターと協定を締結。鶴岡市の先端研究産業支援センターに国の地方創生の一環で「がんメタボロミクス研究室」を開所した国立がん研究センター（第7代総長杉村隆博士）と連携を開始しました。

今の鶴岡市は世界に冠たるベンチャー都市として、羽ばたこうとして居ります。

高速交通網の整備と国際線の空港整備を図り世界の頭脳を集積を図り世界平和都市として研究学園都市の発展を目指すことが、夢です。

2023年3月19日